

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	山形県	事業実施主体	山形県、鶴岡市	地域再生計画名	庄内浜の魅力を生かした港整備による漁村活性化計画
計画期間	平成27年度～令和元年度	評価責任者			

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標	基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度	基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	漁獲高増	1,330.839千円	H25	1,405.839千円	H29	1,252.623千円	1,480.839千円	H31	1,115.925千円	×	3	1	主力の底びき網漁業におけるカレイ・ヒラメの漁獲量減少など、近年の不漁により目標値を下回った。
	指標 2	漁業新規就労者育成数増	6人/年	H15～H25	—	—	—	7人/年	H27～H31	7人/年	○	3	1	担い手育成の各施策の効果に伴い目標値を達成できた。
	指標 3	交流人口増	1,981.4千人	H25	2,031.4千人	H29	2,150.1千人	2,081.4千人	H31	1969.6千人	△	3	1	令和元年度山形県沖地震の影響もあり目標値を下回ったものの、平成29年度は目標値から約7万人の増、平成30年度は約1万人増と目標値を超えており、本計画の効果はあったものと判断できる。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1													
	指標 2													
③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価									
		計画	中間年度(H29)	最終実績										
特別措置を適用して行う事業	港整備交付金事業（加茂港：緑地整備）	A=4,730.0m2	A=4,831.0m2	A=4,831.0m2	平成29年3月に緑地整備が完了した。これにより、近接する鶴岡市立加茂水族館等と連携した地域の交流拠点が完成し、更なる賑わいの創出が可能となり、地域イベント等に活用することで交流人口が増加した。									
	港整備交付金事業（鼠ヶ関港：物揚場補修）	L=40.0m	L=40.0m	L=40.0m	平成29年8月に物揚場補修が完了した。老朽化施設の更新が図られ、係留船舶の安全性が確保された。									
	港整備交付金事業（鼠ヶ関港：泊地浚渫）	V=100,000.0m	V=98,210.0m3	V=130,711.0m3	令和元年10月に浚渫が完了した。港内の安全航行及び静穏性が向上し、就労環境が改善した。									
	港整備交付金事業（鼠ヶ関港：橋梁補修）	L=75.0m	L=75.0m	L=75.0m	平成29年12月に高欄改修が完了した。老朽化した高欄の更新が図られ、歩行者の安全性が確保された。									
	港整備交付金事業（大岩川漁港：防波堤改良）	L=95.7m	L=61.5m	L=95.7m	令和元年6月に防波堤改良が完了した。港内への越波が解消され、港内における静穏度の改善と安全性の向上がなされた。									
その他の事業	全国豊かな海づくり大会開催事業	・水産業、漁村地域の活性化 ・関連施設的环境整備の実施			山形県の特徴ある水産業や魅力を全国に発信し、水産業の振興と地域活性化を図るとともに、森と川から豊かな海づくりにつながる取組みを推進した。									
	漁港漁村活性化支援事業	・ブルーツーリズムによる交流			地域の資源（民宿・漁業体験・加工品づくり等）を活用した交流・体験プログラムを実践して交流人口の拡大を図った。									
	栽培漁業推進事業	・イワガキ増殖施設整備の実施			山形県沖漁場においてイワガキ増殖施設整備のための基本計画を策定し平成29年度より着手している。									
計画外で独自に実施した事業	都市漁村交流推進事業	・小学生漁村体験の実施 ・料理人育成講座の実施 ・鼠ヶ関大漁フェスティバルの実施			漁業関係者と協力して、地域の特性を活かした旬の魚介を活用した水産イベントを実施し、交流人口の拡大・誘客を促進する取組を実施した。									
④評価方法	「山形県公共事業評価監視委員会」による評価。													
⑤事後評価の公表方法	山形県のホームページによる公表													
⑥計画全体の総合評価	加茂港および鼠ヶ関港の地方港湾整備については、予定通り整備が進み、交流人口の拡大につながった。また、大岩川漁港では、冬季風浪等による越波が生じ港内の安全性が保たれていない状況にあったが、防波堤や消波ブロックの嵩上げなどによる施設の機能保全と改良を進めてきたところ、越波が解消され、港内における静穏度の改善と安全性の向上がなされた。													
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、円滑に整備が推進され、また、港での観光・交流人口においては、令和元年度山形県沖地震の影響もあり目標値を下回ったものの、平成29年度は目標値から約7万人の増、平成30年度は約1万人増と目標値を超えており、本計画の効果はあったものと判断できる。このため、更なる港での観光・交流人口増加のため、港湾と漁港の連携強化を図るとともに、ハード事業の推進および漁業・観光振興関係者と連携し、「食の都庄内」ホームページなどを通じて、庄内の海の幸の美味しい情報など、ソフト事業により、水産産業の魅力を全国発信していき、地域活性化を一層強化していきたいと考えている。													